

[09] エネルギー史研究ノート表紙奥付等

<https://hdl.handle.net/2324/13829>

出版情報：エネルギー史研究ノート．9，1977-12-04．エネルギー史研究会
バージョン：
権利関係：

通じて展開していたことである。そして、このような石炭輸出業は財閥資本にとっては中国市場進出への橋頭堡を築く上での最も重要な手段でもあった。従って、上海石炭市場での日本炭の支配力を強めることとは同時に、財閥資本の石炭産業への進出を一そう促進せしめることになった。こうした財閥資本と石炭産業の結合を国際市場での展開を通して明らかにすることが一つの課題であり、それはまた、日本石炭産業の構造的特質の解明にとっても不可欠な問題でもある。

そして、その一作業として以上みてきたような上海石炭市場における三井物産の石炭取扱業の展開を明らかにし、そのことを通じて三井財閥形成史の特質の究明をおこなうことがつきに残された課題なのである。

(一九七七・八・三一)

執筆者紹介 (掲載順)

- | | |
|-------|----------------|
| 四宮 俊之 | 明治大学大学院博士課程 |
| 山下 直登 | 東京教育大学大学院博士課程 |
| 出水 力 | 大阪府立和泉工業高等学校教諭 |
| 入江 寿紀 | 西日本鉄道本社勤務 |
| 左合藤三郎 | 元『労務管理年誌』編集委員 |
| 細川 章 | 多門市立図書館司書 |
| 安藤 保 | 東海大学助教授(文学部) |
| 今野 孝 | 麻生セメント本社社史資料室 |
| 秀村 選三 | 九州大学教授(経済学部) |
| 東定 宣昌 | 第一経済大学専任講師 |
| 稲富 清 | 安川電機製作所小倉診療所長 |
| 川内 昇 | 多門市助役 |
| 今津 健治 | 神戸大学助教授(教養部) |
| 八田千恵子 | 佐賀新聞社勤務 |
| 町田 保次 | 熊本行政監察局勤務 |